

第2回検討会 グループワークの進め方

1. 実施形態

- ①委員によるグループ（班）に分かれての意見出し（1テーマ25分程度）
- ②グループの数は7つ、各グループにファシリテーター（市職員が担当）を配置
- ③各グループの人数は7人程度、団体等のバランスを考慮した編成

2. グループワーク意見出しテーマ

- ・テーマ1：育てたい子どもの姿（生徒の育成像）＜使用する付せん：黄色＞
- ・テーマ2：新しい学校で大切にしたい教育 ＜使用する付せん：ピンク色＞

3. グループワークの進め方

- ①各自がテーマに関する意見等を付せんに記入（テーマ別に色分け）
- ②各自が付せんを説明し、ファシリテーターが関連した付せんを模造紙上に分類
- ③全員で模造紙上にまとめたものを確認し、ファシリテーターが発表

4. 留意事項

- ①付せん1枚に1つの意見を書いてください。
- ②付せんに書く意見は、簡潔明瞭に記入（長文を記入しない）
- ③付せんの末尾にご自身のイニシャル等、意見者が識別できる記号を書いてください。
- ④付せんを貼り付けるときに、その意見の背景などがあれば口頭で説明してください。
- ⑤委員一人当たり **3分以内**で意見を出していただきます。
- ⑥他者の意見を最後まで聴く（発言者は簡潔に説明する）
他者の意見を否定しない（意見を一つに絞ったり結論を出したりするものではありません）

5. 付せん（ポストイット）の使い方

- ①付せんのおもて面に記入
（裏面「のり」部分が上になるように）
- ②付せん1枚につき、一つの意見を大きな
字で簡潔に記入

＜記載例＞

付せん(ポストイット)おもて面
(裏面「のり」部分が上になるように)

**自立して社会で生き
ていくために〇〇を
身に付けた生徒 ㊦**

各自が氏名代わりの記号を表示

×ンバー

令和5年10月26日

＜模造紙に付せんを張り付けた例＞

『30年先を見据えた、10年後の十日町市立中学校とは』

② 地域と学校

① 子どもと学校

